

平成11年発足した会に即入会し、一番困惑したことは士清に関する資料の少なさでした。自筆本は勿論のこと、出版物また手紙等の中、旧宅の展示ケースに収蔵されているのは『日本書紀通証』35巻、『倭訓栞』93巻、『谷川家魁方書』の他数点です。古書店で見つけようにも、士清の自筆の特徴を知る手掛かりにする事は甚だ困難です。資料は東京に流れているとか、旧宅周辺の家に運送しているとか噂はありますが、津市が所有している資料は雀の涙ほど。石水博物館や本居重長記念館に士清の貴重な資料が残されていますが、これも皮肉な話です。津市図書館にある稲垣文庫にも士清の資料が含まれており、私も利用しますが、なかなか研究されていません。

なぜ、資料が少ないのか。いろいろある中、次の2点が考えられます。①士清は神道家でしたから、本の下書きや書き損じを残せば、自分の考えが誤って伝わる恐れがあるので、それらは燃やすか反古塚に埋めました。②徳川光圀が編纂した『大日本史』を訂正した『続大日本史私記』を著したり、友人の竹内式部を匿い津藩から脱れ、士清は他参留、長男士逸は藩領内から遠放、士清学問は排斥、藩士の門下生も絶家、隠退、減俸処分、洞津谷川塾は廢塾にと追いやられました。子孫は『倭訓栞』出版のため資金調達に苦しみ、110年かけて明治20年、全巻を出版しましたが、谷川家は最後には家も人手に渡ります。

話を戻しますが、このような状態で士清に関する知識を会員が得るにはどうすればよいか。出した答えは士清に関係のある論題で、学者や専門家に講演を頼み、一般の市民や会員に士清の人物像、著作物の内容を紹介していただくことでした。設立当初から様々な方々に講演会で発表していただけてきました。会員の中で独自で研究している人の発表の場にもしました。

更にこれらの発表者に原稿を依頼し『まなびの葉』にまとめ、会員をはじめ、顕彰活動として三重県内の高校、大学、図書館等に譲呈してきました。今年で第8号になります。この本は次の世代に士清研究を引き継いでいただく助けとしたいためでもあります。

ガイド

平成30年度谷川士清活動一覧

奥田 榮子

月日	項目	案内人数	ガイド担当者
4月14日(土)	ええとこ発見講座	9	池村、山越、奥田、佐野篤
5月10日(木)	士清まつり	25	池村、佐野篤、藤井、石川、山本、萩野、馬場、谷口、別所、奥田
5月13日(土)	近鉄ウォーク 定点ガイド	100	池村、山越
6月29日(金)	河原徳子ほか3名	4	奥田
7月21日(土)	親子洞津谷川塾	8	池村、奥田、佐野篤、山越、谷口、藤井、山本、別所、萩野、馬場
8月25日(土)	都市環境ゼミナール例会 於:旧宅	30	池村、山越、別所、萩野、馬場
8月31日(金)	橋南公民館講座ウォーキング	28	奥田
9月17日(月)	観音寺町老人クラブ「白寿会」	39	山越、佐野篤、藤井
9月20日(木)	新町小学校4年1~3組	89	奥田、山越、別所、馬場、山本
〃	「にっぽん丸」の乗船客	3	奥田
10月11日(木)	津高校中川校長先生	1	奥田
11月2日(金)	片田小学校出張講座	28	佐野篤、山本
11月24日(土)	会員募集ガイド	4	池村、奥田、山越、佐野篤、別所、谷口
11月28日(水)	コスモス短歌会	7	奥田
3月6日(水)	歴史街道推進協議会(大阪)	36	池村、別所、山越、奥田